



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 クボテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	862	45.2	246		130		161	210.8
30年3月期第2四半期	1,574	18.0	68	100.3	63	161.8	51	161.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 178百万円 (179.8%) 30年3月期第2四半期 63百万円 (60.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	11.72	
30年3月期第2四半期	3.77	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	4,096	1,405	34.3	102.12
30年3月期	3,848	1,227	31.9	89.13

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,405百万円 30年3月期 1,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	51.0	480		370		80		5.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	13,830,000 株	30年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	62,159 株	30年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	13,767,841 株	30年3月期2Q	13,767,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、通商問題、海外経済の不確実性等に留意が必要なものの、緩やかな回復が続きました。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ(FPD)の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資は継続されておりますが、一部に慎重な動きが見られました。

このような環境の中、当社グループでは、製品開発、販売拡大により事業基盤の強化を図ってまいりましたが、主力製品の画像処理外観検査装置は引合いが堅調である一方で、主要顧客の設備投資時期の影響を受け大幅な減収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高862百万円(前年同四半期比45.2%減)、営業損失246百万円(前年同四半期は営業利益68百万円)となりました。また、海外子会社Kubotek USAのIPアドレス売却に伴う貯蔵品売却益125百万円を営業外収益に計上した結果、経常損失130百万円(前年同四半期は経常利益63百万円)となり、京都第三工場土地・建物の売却に伴う固定資産売却益309百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は161百万円(前年同四半期比210.8%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上は大幅に減少しました。この結果、売上高は506百万円(前年同四半期比61.4%減)、セグメント損失は284百万円(前年同四半期はセグメント利益30百万円)となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は187百万円(前年同四半期比2.1%減)、セグメント損失は0.9百万円(前年同四半期はセグメント利益28百万円)となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は168百万円(前年同四半期比136.3%増)、セグメント利益は19百万円(前年同四半期はセグメント損失6百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ247百万円増加しました。流動資産は現金預金の増加524百万円、未収消費税の減少40百万円などにより、481百万円増加しました。固定資産は京都第三工場土地・建物売却に伴う有形固定資産の減少などにより、233百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加しました。流動負債は仕入債務の減少252百万円、短期借入金の減少512百万円などにより、818百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加などにより、887百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益161百万円の計上などにより、純資産合計が178百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月28日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,099,414	1,623,518
受取手形及び売掛金	1,216,793	1,280,856
電子記録債権	97,034	18,304
商品及び製品	14,236	15,544
仕掛品	265,701	293,034
原材料及び貯蔵品	112,524	102,989
その他	100,626	53,185
貸倒引当金	△21,639	△21,391
流動資産合計	2,884,693	3,366,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	191,429	143,304
土地	558,514	368,865
その他(純額)	36,165	35,655
有形固定資産合計	786,109	547,825
無形固定資産		
ソフトウェア	147,036	151,105
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	149,322	153,391
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,772	1,010
その他	106,187	108,330
貸倒引当金	△79,360	△80,312
投資その他の資産合計	28,598	29,028
固定資産合計	964,029	730,245
資産合計	3,848,723	4,096,289
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,669	226,450
短期借入金	1,391,000	878,424
未払法人税等	30,730	13,539
賞与引当金	16,070	16,070
関係会社整理損失引当金	30,032	30,032
その他	370,642	334,269
流動負債合計	2,317,144	1,498,785
固定負債		
長期借入金	246,000	1,125,576
繰延税金負債	5,187	5,423
退職給付に係る負債	49,571	51,142
その他	3,725	9,368
固定負債合計	304,484	1,191,511
負債合計	2,621,628	2,690,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△679,148	△517,757
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,190,883	1,352,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△355	140
為替換算調整勘定	36,566	53,576
その他の包括利益累計額合計	36,211	53,717
純資産合計	1,227,094	1,405,991
負債純資産合計	3,848,723	4,096,289

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,574,369	862,202
売上原価	1,055,692	669,982
売上総利益	518,676	192,219
販売費及び一般管理費	450,098	439,198
営業利益又は営業損失(△)	68,577	△246,978
営業外収益		
受取利息	65	90
受取配当金	305	109
受取賃貸料	555	277
貯蔵品売却益	—	125,701
その他	67	95
営業外収益合計	993	126,275
営業外費用		
支払利息	5,997	6,937
為替差損	130	2,387
その他	18	180
営業外費用合計	6,147	9,505
経常利益又は経常損失(△)	63,424	△130,208
特別利益		
固定資産売却益	—	309,044
特別利益合計	—	309,044
税金等調整前四半期純利益	63,424	178,836
法人税等	11,500	17,445
四半期純利益	51,924	161,391
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,924	161,391

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	51,924	161,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	435	496
為替換算調整勘定	11,567	17,009
その他の包括利益合計	12,002	17,506
四半期包括利益	63,926	178,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,926	178,897
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	63,424	178,836
減価償却費	79,488	103,572
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,708	748
賞与引当金の増減額 (△は減少)	400	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	69	1,571
受取利息及び受取配当金	△370	△199
支払利息	5,997	6,937
為替差損益 (△は益)	271	951
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△309,044
売上債権の増減額 (△は増加)	△218,119	10,970
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△68,293	△20,167
仕入債務の増減額 (△は減少)	259,020	△249,929
未収消費税等の増減額 (△は増加)	3,847	42,029
未払消費税等の増減額 (△は減少)	333	3,635
その他	49,091	△12,942
小計	185,869	△243,030
利息及び配当金の受取額	368	197
利息の支払額	△6,129	△7,741
法人税等の支払額	△8,582	△16,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,525	△267,337
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,461	△1,293
有形固定資産の取得による支出	△3,779	△13,643
有形固定資産の売却による収入	-	544,821
無形固定資産の取得による支出	△149	△422
ソフトウェアの取得による支出	△73,516	△92,186
その他	1,616	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,289	437,210
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	263,000	△700,000
長期借入れによる収入	-	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△216,000	△233,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,000	367,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,494	△12,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139,741	524,101
現金及び現金同等物の期首残高	939,793	1,067,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,079,534	1,591,847

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,311,734	191,431	71,203	1,574,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,489	11,172	25,320	115,982
計	1,391,223	202,604	96,524	1,690,352
セグメント利益又は損失(△)	30,456	28,446	△6,479	52,423

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,423
セグメント間取引消去	4,716
内部利益の調整額	△8,060
貸倒引当金の調整額	19,498
四半期連結損益計算書の営業利益	68,577

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	506,484	187,456	168,261	862,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,264	5,817	23,654	64,737
計	541,748	193,273	191,916	926,939
セグメント利益又は損失(△)	△284,432	△989	19,903	△265,519

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(固定資産の譲渡による資産の著しい減少)

当第2四半期連結会計期間において、京都第三工場の土地・建物を譲渡したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「日本」のセグメント資産が236,404千円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△265,519
セグメント間取引消去	2,688
内部利益の調整額	12,849
貸倒引当金の調整額	3,002
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△246,978

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。